

| 月 日 | 天候 | 午 前 | 午 後 | 夜 | 参 加 者 | | |
|--------|----|------------------------------|-----------------------------------|-----------------|---------------------|------------|----|
| | | | | | ワークキ ャンプメ ンバー | 地元メ ンバー | 計 |
| 8/28 | 小雨 | | 16:00 集合 | ミーティング | 6 | 1 | 7 |
| 8/29 | 曇雨 | オリエンテーション 薪運び作業 | 薪割り、鋸による薪作 り、竹伐採 | | 6 | 3 | 9 |
| 8/30 | 曇雨 | そば苗植え付け | 水車近くの下刈 | 地元メンバー との交流会 | 6 | 4 | 10 |
| 8/31 | 曇雨 | 水車近くの下刈、 沢の除草 | 除伐作業 | | 6 | 2 | 8 |
| 9/1 | 曇雨 | 除伐木のチップ処理、下 刈、木工クラフト | 遊歩道作り | | 6 | 11 | 17 |
| 9/2 | 曇雨 | 観察コースとバンガロー下 の笹刈 | バンガロー下の笹刈、水 車廻りの除伐作業 | | 5 | 5 | 10 |
| 9/3 | 曇雨 | 畑作業 | 除伐木のチップ処理、 田んぼ廻りの沢の除草、 除伐作業 | | 5 | 13 | 18 |
| 9/4 | 曇雨 | フリー（市内周辺見学） | | | 5 | 2 | 7 |
| 9/5 | 晴 | 水車廻りの整備、除伐、除 草、伐木処理 | 除伐木のチップ処理 | | 5 | 4 | 9 |
| 9/6 | 晴 | 栗園跡地の法面の除伐、除 草 | 水車廻りの除伐、除草、 杉苗手入れ | | 5 | 4 | 9 |
| 9/7 | 曇 | 子どもの遊び場予定地の除 伐、除草 | 除伐木のチップ処理 | | 5 | 4 | 9 |
| 9/8 | 曇雨 | 栗園跡地の法面の除伐、除 草 | 炊事場廻りのドウダンツ ツジの選定作業 | | 5 | 3 | 8 |
| 9/9 | 曇雨 | 炊事場廻りのドウダンツツ ジの選定作業とチップ処理 | チップ処理と自然観察 会 | | 5 | 5 | 10 |
| 9/10 | 曇雨 | 薪割り、栗園跡地の法面大 鎌による草刈り | 遊歩道整備のための杭作 り | 地元メンバー との交流会 | 5 | 6 | 11 |
| 9/11 | 曇 | 全体の振り返り、部屋等の 清掃 | | | 5 | 2 | 7 |

(松崎記)

[編集後記] あんなに暑かった日がうそのように、秋の気配が山々を彩り、空気もひんやりとして
温かい食べものが恋しい季節になりました。おいしく食べられることは健康の証ですね。

(発 行) NPO 法人いわきの森に親しむ会
(発行責任者) 木田章一 (編集担当者) 鈴木小百合
(事 務 局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳 2 湯ノ岳山荘内
TEL/FAX 0246-44-3273 E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp
H P : http://iwaki-mori Jimdo.com/
Facebook : https://www.facebook.com/iwakinomori



SDGs と私たち

佐藤 烈

SDGs (エスディージーズ) という言葉を最近目にするようになりました。最近もある
全国紙が紙面 2 ページを使い企業の取り組みなどを紹介していました。そこで SDGs と
は何なのかまとめ、次いでそれが私たちの活動とどう関係しているのか考えてみたいと思
います。

まず SDGs とは Sustainable Development Goals の略称で日本では「持続可能な開
発目標」と訳されます。2015 年 9 月の「国連持続可能な開発サミット」で 193 か国が
合意し 2016 年 1 月に発効しました。地球環境や気候変動に配慮しながら、持続可能な暮
らしや社会を営むための、世界各国の政府や自治体、非政府組織、非営利団体だけでな
く、民間企業や個人などにも共通した目標です。目標は 17 挙げられています。それは次
のとおりです。

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い
教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技
術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづ
くりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさ
を守ろう 15 陸の豊かさも守ろう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナー
シップで目標を達成しよう

この 17 の目標の下にあわせて 169 のターゲットが挙げられています。

例えば「1 貧困をなくそう」の目標には 2030 年までに 1 日 1.25 ドル未満で生活す
る人々をなくすとか同じく 2030 年までに貧困状態にあるすべての男性、女性それに子供
を半減させる。「3 すべての人に健康と福祉を」の目標では 2030 年までエイズ、結核、
マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶すると共に肝炎、水系感染症及び
その他の感染症に対処するまたたばこ規制枠組み条約を適宜強化するなどです。

当然日本もこれに合意し首相を本部長に推進本部を設置し実施方針を出しています。当
然国の施策もこれと関連付けられて策定されているはずで。そして 2030 年にはこれら
の取り組みの達成状況を世界に向けて公表しなければなりません。地方自治体も国と同じく
その施策をこの SDGs に関連づけ、その達成状況を国に報告することとなります。

次に私たちの活動がSDGsとどこでつながっているのかを大まかに見てみます。

まず、「4 質の高い教育をみんなに」の目標では、炭焼き、山菜採取、薪ストーブ、ペレットストーブ、太陽熱利用足湯の設備、水車を使った粉ひき設備、風車や太陽光発電設備等持続可能な開発を推進するための知識とスキルを獲得するための教育の場としての役割を果たしています。「6 安全な水とトイレを世界中に」の目標では、山に降った水を利用していることから降水の効率的な利用をしているし、山荘周辺の手入れにより水源涵養に寄与し、生態系の保護に寄与しています。「7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」の目標では、研修室に設置されている薪ストーブや倉庫に設置したペレットストーブ等再生可能エネルギー利用への積局的な取り組みがこれにあたります。「11 住み続けられるまちづくりを」の目標では、湯ノ岳山荘は安全で利用が容易な緑地と公共スペースを提供しているというターゲットに対応します。「12 つくる責任つかう責任」の目標では、間伐や山菜採り等持続的な管理や効率的な利用を行っているし、また、山荘への来訪者は持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報を得て、これらの意識を持つようになると思われます。「15 陸の豊かさを守ろう」の項目では、整備班中心に行っている山荘周辺の保全・管理が森林の持続可能な管理にあたり、栗園跡地での植林と育樹は森林再生にあたります。またこれらの活動は産地の生態系を保全する活動であるともいえます。最後に「17 パートナリシップで目標を達成しよう」の目標では、当会の活動は各種の補助金や助成金が欠かせないことも含め、自治体や市民の事業の支援、あるいは国際ワークキャンプの受け入れなど本会と公的機関やNGO、市民等とのパートナーシップによるものが多く、外への広がりがある活動といえると思います。

このように当会はSDGsの目標、ターゲットのいくつかの部分ですでに実践していることがわかります。

☆かんぼ生命保険より寄付金贈呈を受ける☆

2018年度かんぼ生命保険からの寄付金贈呈式が8月21日に、かんぼ生命福島支店（郡山市）において行われました。この寄付金は、森林の育成に取り組む環境保護団体に贈られるもので、当会は2015年度から引き続き4年目となり今回は100万円の寄付を受けました。今後もこの寄付金を活用し市民が気軽に楽しめる里山づくりを行ってまいります。



(木田記)

【新会員の紹介】

9月にお二人の方が入会されましたのでご紹介します。

馬目信暁さん（男性、78歳）と阿部隆明さん（男性、77歳）です。

木工に興味をお持ちで主に木工班で活動されるということです。

【国際ワークキャンプ】

8月28日から9月11日までの2週間、行いました。今回の参加者は、日本人の女性大学生をリーダーにメキシコ人の男性大学生、イタリア人のフリーの男性、ロシア人の女性会社員それにベトナム人の女性大学院生の5人でした。

8月28日から9月1日までの5日間はNICE（注1）のスタッフがリーダーの研修を兼ねて活動に参加しました。今回はNICEのスタッフを含めて全員が20才代ということもあったせいかチームワーク良く2週間で過ごすことができました。

山荘の水車廻りの整備と広場の整備を中心に作業をしてもらいました。活動の内容は次のとおりです。

（注1）NICEは東京新宿区に本部を置く日本国際ワークキャンプセンターのことで、国内・海外ボランティア活動を行う国際ボランティアNGO（非政府組織）で1990年に設立された。国内外90か国でワークキャンプ等の事業を行っている。

NICEはNever-ending International work Camps Exchangeの略



機械による薪割作業



チップ処理作業



遊歩道作り



棚田跡地の沢の整備

【自遊学キャンプで稲刈り行う】

9月30日、自遊キャンプ参加者による稲刈りを行いました。昨年5~60年前から放置されていた田んぼ跡（棚田跡）を復旧して田植えを行いました。イノシシの被害に遭い稲刈りを行うことはできませんでした。今年の稲刈りは棚田復元後、最初の稲刈りとなりました。



【好間稲刈り・脱穀】

当初9月29日（土）に予定していた稲刈りは、台風による天候不順のため10月4日（木）に実施しました。ここの田は水はけが悪く、今回も一部、田植え用長靴を履いて行きポッチ掛けし無事終えることができました。10月18日（木）には脱穀を行い、10月21日のろうきん森の学校で無農薬で栽培した新米を食べてもらいます。
(木田記)



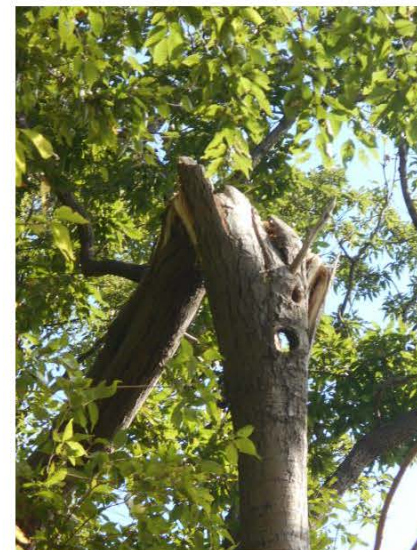
稲刈り



稲ポッチ掛け

【ムササビのねぐら倒壊】

9月30日（日）、台風24号の強風により、湯ノ岳山荘周辺の木が倒れる被害がありました。中でも自然観察会で必ず通るムササビの棲む大木が巣穴のところで折れてしまいました。今後、楽しみにしていたムササビが見られなくなり残念です。
(木田記)



【森林整備班】

1. 定例活動

今期の活動は下草刈りを中心とした作業になりました。(H30.7.1~9.30)

| 月/日 | 曜 | 天候 | 実施事項 | 参加者 |
|-----|------------|------|------------|-----|
| 7/4 | 水 | 晴 | 下草刈り | 2 |
| 7 | 土 | 小雨 | 下草刈り | 3 |
| 11 | 木 | 晴 | 下草刈り（栗園跡地） | 5 |
| 18 | 水 | 晴 | 下草刈り | 2 |
| 21 | 土 | 晴 | 下草刈り下草刈り | 3 |
| 25 | 水 | 曇 | 下草刈り | 3 |
| 8/1 | 水 | 晴 | 下草刈り | 2 |
| 8 | 水 | 曇 | 下草刈り | 3 |
| 18 | 土 | 晴 | 下草刈り | 2 |
| 22 | 水 | 晴 | 下草刈り | 2 |
| 29 | 水 | 曇 | 枯損木除伐 | 3 |
| 9/1 | 土 | 曇 | 下草刈り | 3 |
| 5 | 水 | 曇 | 下草刈り | 3 |
| 12 | 水 | 晴 | 下草刈り | 4 |
| 15 | 土 | 雨 | 作業道具手入れ | 2 |
| 19 | 水 | 晴 | 下草刈り | 2 |
| 26 | 水 | 曇→小雨 | 下草刈り | 3 |
| 計 | 活動延日数（17日） | | | 47名 |

2. 定例整備以外の活動

8月28日から9月11日まで国際ワークキャンプの参加者に対して森林整備の指導を行いました。

3. 海外林整備活動

| 月/日 | 曜 | 整備内容 | 会員・未来基地 | ボランティア | 計 |
|------|---|--------|---------|--------|-----|
| 7/7 | 土 | 下刈り、植樹 | 4 | 71 | 75 |
| 8/4 | 土 | 下刈り | 3 | 13 | 16 |
| 5 | 日 | 下刈り | 3 | 13 | 16 |
| 9/11 | 火 | 下刈り、植樹 | 3 | 46 | 49 |
| 22 | 土 | 下刈り、植樹 | 2 | 3 | 5 |
| 計 | | | 15 | 146 | 161 |

(松崎記)

【農業班】

1. 国際ワークキャンプの学生、農作業体験

今年春の3月に続いて9月3日に笠石の畑に5名の学生達が来場、農作業の体験を行いました。作業内容は、まずは畑に隣接した竹林で竹の伐採と畑でダイコンの種まき、それにさつま芋の芋掘りと草刈りなどを体験してもらいました。

皆さんはとても真面目に作業に取り組んでいて、丁寧に仕事をしている様子でした。



2. 野菜の収穫、種まきなどの作業

8月11日、カボチャ（ミニカボチャ、栗坊）を多数収穫。

8月27日、ラッキョウの種球植え付け。9月10日、ダイコンと大蕪の種まき。9月24日には、タマネギの種まきを行いました。

3. その他

- 7月までは畑にイノシシの侵入が見られなかったが、8月中旬にイノシシが侵入し一部の畑が荒らされました。いまのところは昨年ほどの被害は受けていません。
- 今年はカボチャがたくさん採れたので、地主さん宅に各3kgほど届けました。
- ブルーベリーも豊作で、7月中旬～8月上旬にかけて収穫しました。
- 農道や、畑の周囲の草刈りをほぼ毎週のように行いました。

(農作業班：太田記)

【プログラム班】

1. 学校等の支援活動

| No. | 月 日 | 学校等名 | 学年 | 学習 | 参加者数 | 支援者数 |
|-----|-----------|-------|-----|------|------|------|
| 1 | 7月 2日 (月) | 江名小 | 3・4 | 森林環境 | 38 | 12 |
| 2 | 7月12日 (木) | 中央台北小 | 4 | 総合学習 | 53 | 12 |
| 3 | 9月 5日 (水) | 錦東小 | 3 | 総合学習 | 23 | 7 |
| 4 | 9月13日 (木) | 平六小 | 3 | 総合学習 | 53 | 11 |
| 5 | 9月27日 (木) | 夏井小 | 5 | 森林環境 | 24 | 14 |
| | | | | | 191 | 56 |

今期は7月、9月に合わせて5回の支援を行いました。その一覧は、上記の表のとおりです。以下に平第六小学校3年生の第2回の支援のようすと夏井小5年生の森林環境学習の支援のようすを報告します。

Ⅱ.平成30年8月19日(日)(天候・晴)

1.実施内容 ①自然観察会 ②木工クラフト(子ども対象)

2.参加者 36名

3.実施結果

自然観察会は「セミの抜け殻を集めよう」というテーマで実施しました。スタート前に予備知識を得るための学習を行ってから実施しました。山荘周辺で集めた抜け殻を分類したところ5種類見つけることができました。またススキの葉でバッタを作りました。

午後からの木工教室では、木の枝を使いカブトムシとクワガタムシを作りました。



クワガタ



セミの抜け殻見つけた

Ⅲ.平成30年9月16日(日)(天候・曇)

1.実施内容 ①自然観察会 ②木工クラフト(子ども対象)

2.参加者 43名

3.実施結果

自然観察会は「虫むし大作戦」というテーマで実施しました。いつものように外へ出る前に予備知識を得るための学習を行ったうえで虫取り網を持ち外に出て虫を集めじっくり観察しました。その後、希望者で笠石の当会で借りている畑に行きサツマイモを掘り起こしました。

午後の木工教室では竹で紙鉄砲を作り、ゴム風船を的に遊びました。

(佐藤 烈記)



芋ほり



虫捕まえた



足 台



竹のうさぎ



陳列棚・掲示パネル



木工班メンバー

【ろうきん森の学校】

I.平成30年7月15日(日)(天候・晴)

1.実施内容

①自然観察会 ②木工クラフト(子ども対象)

2.参加者 30名

3.実施結果

自然観察会は「自然の宝物を探そう」というテーマで実施しました。スタート前に宝物探しの進め方についてスタッフが、宝物リストを配布しながら説明し、その後2班編成でスタートしました。そして探し出した宝物を皆でシェアしました。森の手入れ体験は、今までにない猛暑のため熱中症に配慮し中止しました。午後の木工教室では子どもたち中心に竹で水鉄砲を作り、風船を的にして遊びました。




見つけた宝物

宝ものリスト

自然の宝ものをさがしましょう。
危険なものや、自然をこわすものは、とってはいけません。

- ①木の実 ひとつ
- ②木の葉 いちまい
(なるべく大きなもの)
- ③だれかの食べたあと ひとつ
(自分でかじったものはだめ)
- ④トゲトゲなもの ひとつ
- ⑤ぬけがら ひとつ
- ⑥音のするもの ひとつ
- ⑦においのするもの ひとつ
- ⑧おもしろいもの ひとつ
- ⑨あなたの笑顔 ひとつ




水鉄砲

平第六小学校3年生総合学習の第2回目の支援は、5月の第1回目の支援から4ヶ月後の9月13日(木)に行われました。今回はまず班ごとに1年間観察することに決めた班の木を観察して5月のときと比べ葉の大きさや色が変わっていることや実がついているのを見つけ、その木の周りで生活している虫を観察しました。

その後校舎の後ろに控える山へ今年始めて入りました。途中子供たちは数年前の桜の植樹のとき以外は入ったことがないせいか、初秋の季節の花や実を見つけていました。どんぐりを拾い、クリも見つけました。山の高いところから学校の周囲に広がる田んぼが黄色に色づいている景色が良く見えました。

山から下って近くの出羽神社に寄り、そこで大きな木の幹回りを測ったり、社の下の土にアリジゴクが巣をつくっているのを見つけて出てくるのを見ていたりしました。

(参加児童50名、教師3名、支援者11名)



拾ったどんぐり



神社の木の周りを測る



梨の木の観察

夏井小は昨年度から5年生の森林環境学習として間伐体験を考へており、当会はそれを支援することとし、今年度は9月27日(木)に実施しました。

当日はあいにくの雨でしたが、児童は合羽、長靴を用意していたのでまずは山荘周囲の観察コースを散策しました。曇天の中に青紫のツリガネニンジンのベル状の花が似会います。クリやどんぐりがたくさん落ちていました。水車を見て、カツラの落葉の匂いをかぎ、また丸山公園のシカを見ました。雨が強くなってきた昼前には、研修室で木工クラフトを行いました。今回は木の板にいろいろな形の木の枝を貼りつけたものを作りました。昼食後は、ヘルメットをかぶり、のこぎりを腰に差し装備を整えて間伐体験を行いました。直径4センチ以下の細くて周囲の大きな木の生育を阻害している木を一人5本程度伐り、さらに枝を払い短く切りました。

雨の中のハードな作業でしたが、作業後の児童の言葉は、とても楽しかったとの声が多くありました。(参加児童22名、教師2名、支援者14名)



間伐のようす



間伐の準備



秋の花

2. その他の支援活動

学校支援の他に次の支援を行いました。

7月21日(土) いわき市環境企画課主催「夏の親子自然探訪会」

参加者7家族18名、担当課3名、支援者8名

8月4日(土) いわき市林務課主催「ファミリー緑の教室」

参加者8家族21名、担当課4名、支援者8名

佐藤 烈記



環境企画課「自然探訪会」



林務課「ファミリー緑の教室」水鉄砲で遊ぶ

【観察班】

夜の生きもの観察会

実施日時：平成30年8月4日(土)9:00~12:00

県営いわき公園にて観察会を実施しました。一般公募の他、当日の飛び入り参加も加え、子ども(3~9才)16名、大人16名に、スタッフ10名3グループ体制で行いました。ほとんどの方が初めての参加で、暗くなるのを待ち、『いざっ出発!』。出発するやいなや、いろいろな生きものに遭遇し、ナナフシ、オケラ・ミマヤカマキリ・カブトムシ・ホタルなどなど。そのたびに、子ども達のみならず大人も『ワー!』と歓声をあげ大喜びでした。貴重なセミの羽化の様子も見る事ができました。

夜の公園には危険な生きもの ヤマカガシも。しかし、子ども達は興味津々で、その動きを見えなくなるまで観察していました。“すごいですね!”

子ども達にとって、この観察会は、わくわくぞくぞくの良い体験になったのではないのでしょうか。(円谷美奈子記)



バランストンボ作り

実施日時：平成30年10月13日(土)9:00~12:00

実施場所：湯ノ岳山荘森の工房

受講者：6名

実施内容

今回は、トンボのバランスの難しさや不思議さを知ってもらうことと 自分で作る喜びを体験してもらう目的で実施しました。

工具は、自分のナイフ・のこぎりを使い 羽根4枚と胴体を削り、バランスをとりながら組み付けを行いました。また、トンボが止まる「止まり木」も一緒に作りしました。

受講者の技量は、ナイフやのこぎりが使える人を対象に行いました。

皆さん真剣に取り組んで頂き、約2時間で全員が完成させることができました。

参加者の作ることが出来た 満足な笑顔があふれた楽しいイベントでした。



(佐藤行年)

【木工班】 活動日 毎月第1、第3火曜日の午前中

木工班中心にロビーにある木製の陳列棚と若森さんが撮影した季節の花の写真を掲示するパネルを作りました。その他に台所の棚の製作も行いました。

〔男子班〕

これから作るものの検討を行いました。3段の整理箱を作ることにし、材料の準備をしています。完成は12月頃になりそうです。楽しみです。

〔女子班〕

今回も2ヶ作りしました。1ヶは前回同様、竹を利用し、太い竹は胴、足、手に加工し、細い竹は耳、目、口と各人が趣向を凝らしてかわいいウサギさんの置物。1ヶは、杉板で横12cm、縦25cm、高さ15cmの台を作りました。使用法は長時間の立ち作業時に片足を乗せて疲労を軽減させる、また長時間の座り作業時の尻台や、簡易踏台としても利用出来ます。

(佐藤行年・佐藤勝美記)